第３年　道徳学習指導案

１　主　題　　　　小さないのちに　触れて　　　３－（２）自然愛・動植物愛護

２　本時のねらい　自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。

３　資料・準備　　中心資料「ありがとうモンシロチョウ」（「明るい心」３年）

４　指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動**（言語活動）** |

|  |
| --- |
|  |

　　　　　支援（支）　留意点・評価　 |
| 気づく(5) | **１　昆虫など小さな生き物を育てた経験を話し合う。**これまでに動物や小さな生き物を飼ったことはありますか。 | ・　教師が家で飼っている犬の写真を見せて、本時の資料への関心を高めさせる。 |
| 価値の自覚を深め生き方と結ぶ(30) | **２　本資料を読んで話し合う。**たまごからアオムシがかえったとき、どんな気持ちになりましたか。（予想される発言）・　うれしかった。すごい。さなぎからモンシロチョウに育ったとき、どんな気持ちになりましたか。（予想される発言）・　大事に育てて良かった。モンシロチョウを放すように言われたとき、どんな気持ちになりましたか。（予想される発言）・　もっと成長を見たい。・　チョウのことを考えたらにがすべきだ。・　人もチョウも同じ命がある。「わたし」は、なぜモンシロチョウに「ありがとう」と言ったのでしょう。・　育てていて楽しかった。・　命が生まれてうれしかった。 | ・　理科の学習で、学んだ卵や幼虫の写真を順に提示しながら、そのときの気持ちを思い出させながら進める。・　卵と幼虫の写真が横に並ぶように貼り、その下に児童の発言を板書する。・　さらに、さなぎと成虫の写真を貼り、その下に児童の発言を板書する。・　なぜ教室がざわざわしはじめたのかを想像させる。・　児童の「にがさない」と「にがす」の意見にまとめて板書する。両方の立場から考えさせる。・　小さな命でも皆と同じ大切な命であるという意見を皆で共有する。（支）意見が発表できない児童も、ハンドサインを使って自分の意見を確かめられるようにする。・　自分たちがチョウを育てた経験を写真で振り返りながら、主人公が「ありがとう」と言った気持ちを想像させる。

|  |
| --- |
| （評）　生き物を大切にしようとする気持ちをもつことができたか。　 |

 |
| まとめ(10) | ３　チョウを放すときの気持ちを考える。 | ・　チョウのかたちに切ったシートに、自分たちが育ててきたチョウを放すとき、どんなことを思ったかを振り返って書かせる。 |